

2025年第19週（5月5日～5月11日）の感染症発生動向調査情報

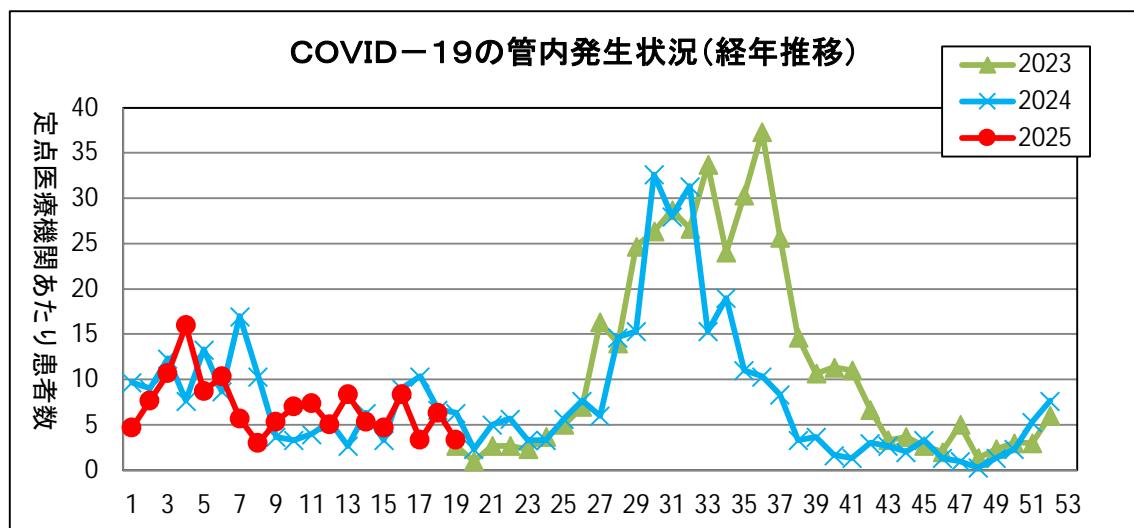
<今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 インフルエンザについて
- 3 管内の感染症発生状況（上記2疾患以外のもの）
- 4 県内の感染症発生状況（百日咳）

I 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週3.33人（先週6.33人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週1.02人（先週1.19人）となり、先週から減少しました。地域別では、宝塚保健所管内が4.40人と最も多く、当所管内及び洲本保健所管内3.33人となっており、年齢別では、50歳代が17%と最も多く、次いで10歳代が15%となっています。

また、県内の社会福祉施設においては、今週1件（先週1件）の集団発生が報告されています。県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

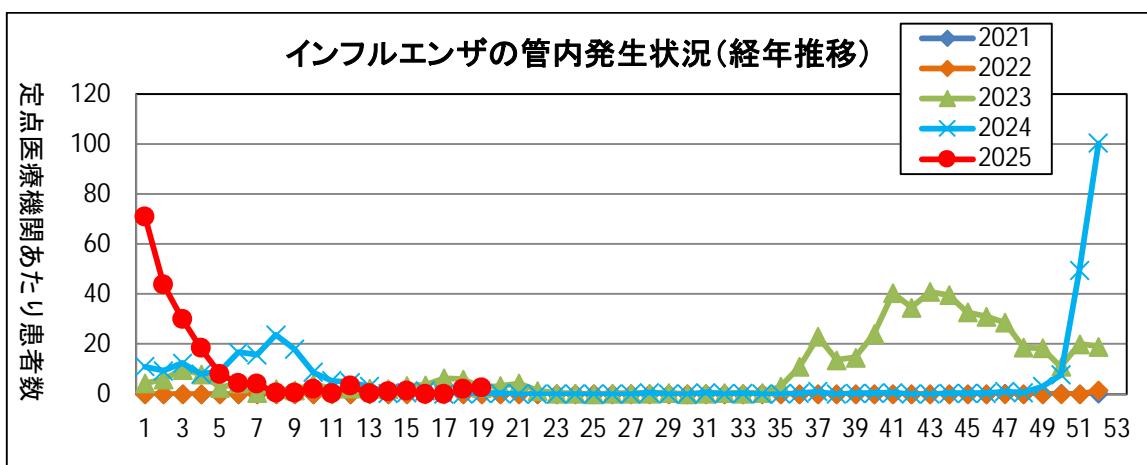
[コロナウイルス感染症](#)

2 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週 2.67 人で、先週 (2.00 人) から増加し、兵庫県内の定点あたり患者数は今週 1.01 人で、先週 (1.48 人) から減少しました。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 906 人の年齢分布では、5~9 歳が 28%、10~14 歳が 24% で、15 歳未満が全体の 65% を占めています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[インフルエンザ](#)

3 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第 19 週は、レジオネラ症及び百日咳が各 1 人報告されました。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

(2025 年 19 週) ※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
8	2.67	-	-	-	-	1	0.5	10	5	1	0.5	-	-	1	0.5	2	1	10	3.33

ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性瞼膜炎	無菌性瞼膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	急性呼吸器感染症
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	198
									66

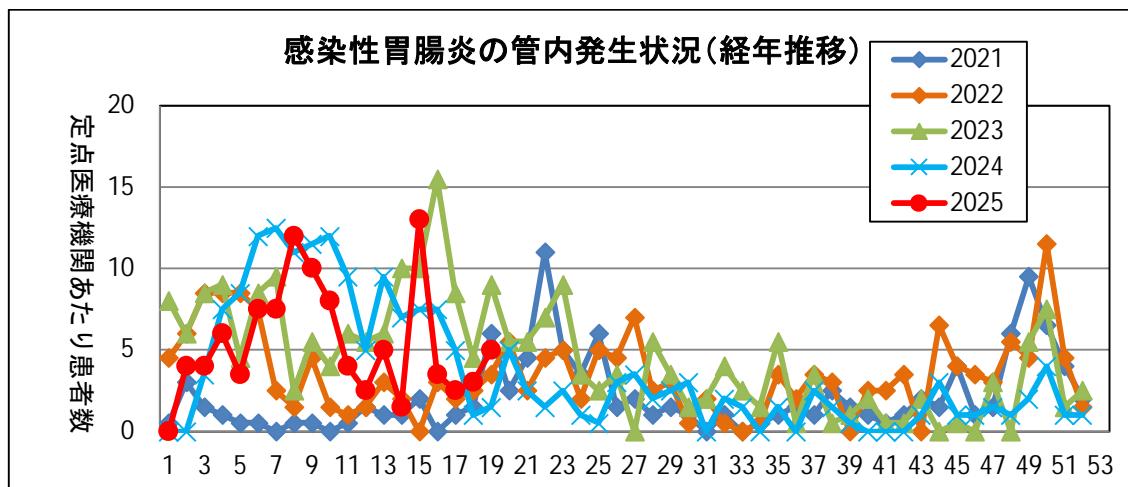
※2025 年 4 月 7 日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

◆厚生労働省ホームページ

[急性呼吸器感染症\(ARI\)](#)

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が5.00人で、先週(3.00人)から増加し、兵庫県では6.95人で、先週(7.98人)から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)

[感染性胃腸炎](#)

4 県内の感染症発生状況（百日咳）

県内では、今週109人(先週91人)の報告があり、今年の累積患者数は893人となりました。当所管内でも1人の報告があり、今年の累積患者数は6人となっています。県内で今年発生した推定感染経路として、家族内感染が491人、学校内流行が164人報告されています。百日咳は主に患者の咳やくしゃみなどにより、しぶきに含まれる細菌を吸い込むことによって感染(飛沫感染)し、7~10日の潜伏期間を経て風邪症状がみられ、次第に咳の回数が増えて強くなります(約2週間)。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します(約2~3週間)。ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないで、成長後に感染することがあります。予防として、咳エチケットなどの一般的な感染対策が有効となります。

<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[百日咳について](#)

◆[国立健康危機管理研究機構ホームページ](#)

[百日咳](#)

[百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン\(第三版\)](#)